

年末・年始のごみの搬入は計画的に



年の瀬が近づき、新年を迎えるための大掃除などで、ごみが大量に出てくると思われる。それに伴い、日野清掃センターや能登川清掃センターでは、年末・年始にかけて大変混み合うことが予想されます。ごみは、一度に出さず、計画的に搬入するようにしてください。よろしくお願ひします。

年末年始の開設日

◆年末
平成18年12月30日(土)
午後3時まで

◆年始
平成19年1月4日(木)
午前8時30分から



- 日野清掃センター (日野町北脇)
燃えるごみの搬入 (50cm以下に切断)
- 能登川清掃センター (東近江市種)
粗大ごみ・燃えないごみの搬入

※詳しくは、ごみカレンダーをご覧ください。
※能登川清掃センターと同様に、平成19年1月からは日野清掃センターへ搬入する場合も、搬入許可書が必要になります (住民課生活環境交通担当までお越しください)。

★捨てる前!!

「ごみとして出す前に、「再利用できないか?」「必要としている人が他にいないか?」など環境のためにも少しでもごみの量を減らすよう心がけてください。

年末の「し尿くみ取り」はお早めに

年末のし尿くみ取りは毎年混みあいますので、遅くとも12月15日(金)までに指定収集業者に申し込んでください。それ以後に申し込みされた場合、年内に収集できないことがありますので、ご注意ください。
※土、日及び祝祭日は、し尿汲み取りはできません。
※日ごろから便槽量をご確認ください。
※くみ取り業者は、地域により異なります。

◆問い合わせ先

住民課 生活環境交通担当
☎6578 有線67784

感雑向綿

日野町長 藤澤直広

昭和16年12月、千島列島 択捉島単冠湾から出撃した連合艦隊は「新高山登レ」の暗号電文(その写しを役場玄関ホールに展示)を受け8日、ハワイの真珠湾を攻撃しました。航空機による攻撃はアメリカ太平洋艦隊の主力戦艦五隻を撃沈するなど大戦果をあげ日本国民は舞い上がり、一方でアメリカ国民は宣戦布告もない奇襲攻撃だったので「騙まし討ち」と批判し「リメンバー・パールハーバー(真珠湾を忘れるな)」と対日戦争の戦意を高めました。

戦艦大和が完成したのはこのころ、皮肉にも航空機による攻撃には戦艦もかなわず、戦闘の主流が戦艦から航空機に替わったことが明らかになった瞬間でした。翌17年6月のミッドウェイ島沖海戦では空母対空母の戦闘となり日本海軍は主力空母四隻を撃沈され大敗北。開戦後半年にして、これを契機に日本軍は敗退を続けることになりました。大和もまた航空機の

攻撃により昭和20年4月、沖縄に向けて出撃中に撃沈されました。11月3日、映画「私たちの大和」の佐藤純彌監督を迎えての憲法公布60年事業で、監督は、太平洋戦争に至るまでの歴史や国際関係を詳しく述べられ、日本の国の歴史は世界と関連し合いながら刻んできたことを強調され、歴史をしっかりと学び知ることの大切さを説かれました。また、「いつも戦争は『自衛のため』と言われる。ナチスドイツも日本もそうだった」「現在の状況が戦前の状況に似ている」と指摘され、冷静に深く社会を見る目をもち、再び戦争を犯してはならないことを力説されました。

11月3日は戦前「明治節」と言われ、明治天皇の誕生を祝う日でした。それが日本国憲法の誕生(公布)の日(文化の日)となったことは、国の主権を天皇から国民へ大転換したことの象徴的な出来事です。国民主権、基本的人権の尊重、平和主義を基本原則とする憲法は、世界に誇るものです。憲法の諸条項を実践することこそ「住みよいまちづくり」の根本だと心し努力したいと思ひます。